

LAURA KINA

「家系図を求めて — 先住民としての沖縄人と環太平洋地域での交流」

“Ancestral Cartography: Transpacific Interchanges and Okinawan Indigeneity”

Abstract:

本講演では、私自身の作品について、私と同様に沖縄にルーツを持つ芸術家デニス・ウエハラとの関係の中で論じながら、ハワイ先住民の主権回復運動と先住アメリカ人の先住民運動の間で生じたトランスパシフィックな交流が、沖縄人の先住民としてのアイデンティティにどのような影響を与えたか考察する。主に取り上げる作品は私の「Sugar」と「Uchinanchu」シリーズの絵画と、ハワイのクレオール作家リー・A・トノウチの文章に私がイラストを添えた絵本 *Okinawan Princess: Da Legend of Hajichi Tattoos* (Bess Press, 2019) である。アメリカ両大陸における植民者のように移住してきたアジア人の役割を認識しながら、ウエハラへのインタビューを通して、沖縄人と先住民という二つのアイデンティティとコミュニティの間で生じる越境的な関係性について考えていく。さらに本講演では、ウエハラとアメリカ先住民芸術家ジェイムズ・ルナが 2017 年に取り組んだ共同制作にも焦点を当てる。ルナは、ルイセーニョ、イパイ、そしてメキシコにルーツを持ち、2017 年秋にスタンフォード大学で初演された学際的パフォーマンス「Ancestral Cartographic Rituals」を終えて間もなく亡くなった。この二人の芸術家は作品の中で祖先のルーツを調べる遺伝子検査を受けて、検査結果がいかにか「創造をめぐる伝統的なストーリー」を裏付け、本物であると証明し、もしくは逆に否定するかを確認した。作品はまだ制作中であるが、彼女らのアーティスト・ステートメントによれば、「環太平洋地域、進化、移住、そして、この場所と今という時間」に関わってきた「文化的な真正性」の解明に着手している。

Representative works:

Tonouchi, Lee and Laura Kina, Masashi Sakihara, *Okinawan Princess: Da Legend of Hajichi Tattoos* (Bess Press, forthcoming March 2019)

Laura Kina and Jan Christian Bernabe, *Queering Contemporary Asian American Art* (University of Washington Press, 2017)

Kina, Laura. “The Black Pacific through Okinawan Eyes: Photographer Mao Ishikawa’s “Hot Days in Camp Hansen!!” and “Life in Philly.” In *Rethinking Postwar Okinawa: Beyond American Occupation*, edited by Pedro Iacobelli and Hiroko Matsudo, 149–168. Lanham: MD, Lexington Books, 2017.